

- 1 **Don' t worry.** 「大丈夫、心配しないで」失敗したと、悩んでいる仲間にこの一言。あるいは、自分を心配してくれる人に、感謝の気持ちを込めて、この一言。
- 2 **Let' s be friends.** 「よろしく。これから仲良くやりましょう。お願いします」初めて会った人と親しくなりたい。そういう気持ちを伝えよう。友達で、いようねって。
- 3 **Leave it to me.** 「ご心配なく。私に、お任せください」自分の胸を叩いて、自信のあることを示そう。相手はあなたを頼もしいと思うはず。
- 4 **Please think about it.** 「ここは、大事なポイント。よく考えてね」相手に、忠告する言葉。もっと本気で、真剣に考えてほしい。簡単に、軽はずみに決めないでほしい。そういう時にこの一言。Think hard だと、命令的で、きつくなる。ここは丁寧に行こう。
- 5 **This is delicious.** 「うーん、これって美味しいね」料理をいただいて、美味しいと感じたら、素直にこの表現。黙っているのは失礼。作ってくれた人に感謝の気持ちを表わそう。
- 6 **Could you please speak a little louder?** 「もう少し、大きい声でお願いします」会議や発表会の時、よく聞こえない時に、黙っているのは無しです。小さな勇気を出して、こう言おう。決して、相手は、嫌な顔はしないよ。真剣に聞いてくれる姿勢は、嬉しいよね。丁寧をお願いする時は、この Could you please・・・を使うと便利。
- 7 **I' m thirsty.** 「まいった、喉が乾いてたいへんだ」スポーツの最中で、喉（のど）が、カラカラ。水、いやスポーツドリンクが飲みたーい。
- 8 **I got burned.** 「あつっ。アチチ。火傷（やけど）しちゃった」熱いものには触らない。こういうセリフも言わないで済むように、安全には、十分注意を。
- 9 **Let' s water the flowers.** 「みんなで、花に水をあげよう。」一緒に、水やりをしようよって、誘ってください。自分の心も潤う（うるおう）よ。
- 10 **Choose one.** 「この中から、1つだけ選んでください」抽選会です。当たりは何でしょうか？ 沢山ある物の中から、相手に一つを選んでほしい時、このセリフ使えるよね。
- 11 **Stand up, please.** 「皆さん、ご起立ください」体育館での生徒朝会。please を忘れないで。丁寧に相手に敬意を表する時、便利な言葉です。
- 12 **I' m lost.** 「あれっ、迷子になっちゃたよ」知らない場所で、うろうろしていたら、道が分からなくなることで、誰しもあるでしょ。さっきまで一緒に居た仲間が、見つからない。その時に、この表現を使いましょう。
- 13 **Here it goes.** 「さあ、ヤルゾー！」野球の試合。ランナー一塁、二塁。自分の打順が回ってきた。やる気の一声で、チームを盛り上げるぜ。そう、この一言。掃除の時間だ。さあ、こっちも盛り上げようぜ。
- 14 **Watch your step.** 「足元に気を付けてね」電車に乗る時、階段を降りる時、この注意喚起の一言は、大事ですね。
- 15 **I have a fever.** 「どうも、熱があるんですが」我慢しないで、保健室に行こう。
- 16 **It' s too bright.** 「まぶしい！明るすぎるね」暗い所から、いきなり明るい場所に出た時などに使えるかも。
- 17 **Nice to meet you.** 「初めまして、宜しくお願いします」初めて会った人には、このセリフを自分から言おう。一歩前に踏み出しながら。

- 18 **I' m so excited.** 「すごい、興奮してます」プロのファインプレーには興奮する。勝つか負けるか手に汗握る試合も。自分の気持ちを表現してみよう。
- 19 **That' s great.** 「それは、すごいよね」誉め言葉。相槌を打つ時にも使いましょう。
- 20 **Look at that.** 「あれ見て」指を差しながら、相手に一緒に見てもらいたい時に言おう。
- 21 **Long time no see.** 「久しぶりですね」懐かしい友人や仲間に久々に会ったら、このセリフ。
- 22 **It' s raining hard.** 「雨が強くなってきました」お天気の状態を説明する表現を、幾つか覚えよう。これもその一つ。
- 23 **What' s that sound?** 「あれって、何の音？」がちゃーんと音が鳴ったら、こう言って現場に急行しよう。
- 24 **Be quiet, please.** 「お静かにお願いします」さあ、これから特別教室で先輩講話だ。皆に注意を促そう、この一言で。
- 25 **Jump over it.** 「さあ、飛び越えてね」水たまりを、狭い溝をさっと飛び越えて、こちらに来てください。安全には気を付けてね。
- 26 **Let' s go out.** 「さあ、出掛けましょうか」いい天気、さあ、高鈴山のハイキングに出発。元気よく、皆に声を掛けよう。
- 27 **Never mind.** 「気にしないで」仲間がスポーツで失策した時にこの一言。お礼を言われた時の返事にもこれが使える。積極的に使って、相手の気持ちを楽にさせてあげよう。
- 28 **Wash yourself.** 「体、洗ってきたら」スポーツで、汗びっしょり。仲間に「お疲れさん、一風呂浴びてきたら」という調子で、言ってみよう。
- 29 **I depend on you.** 「頼りにしてますよ」「頑張ってくださいね」相手に力を貸してほしい時の一言。あるいは、「しっかり頑張って、五輪大会で良い成果を出してね」という場合もこの一言。きっと張り切ってやってくれるよ。
- 30 **That' s too big.** 「ちょっと、大きすぎだな」洋服の試着、同じLでも、海外製は仕様が違うなあ。自分には大きすぎだ。自分の想定より大きかったら、いつでも使えますね。
- 31 **Well done.** 「お見事ですね」「流石ですね」よくやった、素晴らしいという誉め言葉。遠慮しないでドンドン使っちゃおう。
- 32 **You can go now.** 「もう帰っていいよ」「もう用事は終わったよ」話や用件が終了して、まだ相手が、残っていたら、気を効かせてこう言って、帰してあげよう。
- 33 **Give me a ride, please.** 「一緒に乗せてもらっていい？」行先が同じ方面のようだ。車と一緒に乗せてもらいたいなあ、と思ったら、仲間にこう言おう。
- 34 **This is for you.** 「これ、あなたへのプレゼントです」バレンタインデイにチョコレートをプレゼントされたいなあ、このセリフを言われながら。プレゼントを渡す時は、相手の目を見ようね。
- 35 **Keep your eyes open.** 「しっかりみて、気を配りながらね」相手に充分しっかり注意をしてみてくださいと思ったら、このセリフを言ってみよう。
- 36 **Go straight.** 「この道を真っ直ぐに行ってください」道を聞かれた時に言う時の表現。
- 37 **I feel a chill.** 「寒気がします。(もしかして、風邪の前兆かな?)」体がぞくぞくしてきたら、我慢しないで、保健室の看護師さんに話そう。」
- 38 **How many?** 「いくつ、ありますか?(必要ですか?)」具体的に数を聞いて確認する作業は大切です。

- 39 **It's windy.** 「風が強いですね」お天気の説明を、3, 4つ覚えたいですね。
- 40 **Tell me.** 「言ってみて」「教えて」気軽な相手には、こう言ってお願いしよう。
- 41 **Way to go!** 「いいぞー、やったね」スポーツで、見事なファインプレーをやってくれた。このセリフで、仲間を称え（たたえ）よう。
- 42 **I'm freezing.** 「こごえそう」メッチャ寒い、寒くて体が凍ってしまいそうな時は、実感を込めてこのセリフを言おう。
- 43 **A storm is coming.** 「嵐が近づいているよ」天気が崩れて、風も相当強い。嵐だ、という時に使える表現だね。
- 44 **How is the weather?** 「お天気はどうか？」これから出かけようと思っている時、同室の仲間を確認したいと思ったら、こう言ってみよう。
- 45 **You are a big help.** 「ありがとう、お蔭で助かりました」自分だけでは、うまく行かなかっただろう。この仲間のお蔭で、うまく行った。感謝の気持ちを込めて、この一言。
- 46 **Are you ready?** 「さあ、準備は OK かな。さあ、いくぞ（いくわよ）」さあ、試合開始だ。今日は絶対勝ちたい。キャプテンとして、声掛けをしよう。
- 47 **Give it a try.** 「まずは、やってみて。いいから、試してごらんよ。」友達が、洋服を試着したそうにしている。でも、ちょっとためらっている。よし、背中を押してあげよう。この一言で。
- 48 **Where can I wash up?** 「どこかで、洗えるかな？」手や顔が汚れたら、ちょっと綺麗にして家の中に入りたい。水でさっと洗える洗面場所を教えてもらいたい時に、使ってみよう。
- 49 **It looks good.** 「似合うよ、良い感じだね」友人が、洋服や髪型がカッコイイなどと思ったら、これで誉めてあげよう。友達もニコリするよ。
- 50 **Take your time.** 「あわてないで、ゆっくりやってね」電車の時間に間に合わないと思っているのか、友人は、あせって準備をしている。大丈夫、まだ時間には余裕がある。こう言って、安心させてあげよう。
- 51 **I made it.** 「よし、ついにやったぜ」やっと、目標にしていた何かを成し遂げた時、この一言で、自分の嬉しさを爆殺させよう。競技会で、時間内に達成できた時も使えるよ。「時間内に、間に合って、できた!」って。
- 52 **Please give it a whiff.** 「ちょっと、これ嗅いでみて」うーん、ちょっと変かな？臭いを確認したい時ってあるかな。そんな時、こう言って相手に、におって(臭って、匂って)もらおう。Smell it, please は、きつい印象を与える。この言い方が柔らかい。
- 53 **Don't give up.** 「ここで、諦めたらダメだよ。もう一歩だ。頑張れ!」友達がくじけそうになったら、こう言って励まそう。相手も苦しいはずだ。
- 54 **That's mine.** 「はい、それは私のです」教室で、友人が「このボールペン、誰の?」と聞いている。「あっ、私のペンだ!」その時は、ためらわないで、
- 55 **Hurry up, please.** 「急いでください。(遅れそうですから)」電車の発車時刻に間に合わせたい。もう少し、急がないと。相手に素早く行動してほしい時の表現です。
- 56 **Don't be shy.** 「恥ずかしがらないで。照れずにいこうよ」引っ込み思案の友達に、励ましの言葉。仲間が、人前でプレゼン。少し照れてるようだ。元気な発表になるよう、後押ししてあげよう。
- 57 **Let's shake hands.** 「さあ、握手しましょう」こう言って手を出せば、初めての人でも友達になれる。仲直りの時にも使える表現です。

- 58 **How do you feel?** 「気分はどうですか？」体調が悪そうな仲間に、具合をうかがう時に使いましょう。気遣いの言葉ですから、やさしく話しかけてください。
- 59 **The flowers came out.** 「あ、花が咲いたよ」桜など、期待していた花が咲き始めました。こう言えば、周囲の皆の心も明るくなるよね。
- 60 **I was touched.** 「感動したよ」。素晴らしいものに出逢ったら、素直にこう表現しよう。気持ちを込めてね。
- 61 **Are you OK?** 「大丈夫ですか？」具合の悪そうな仲間には、自分から真っ先に声を掛ける。また、困っていそうな人を見かけたら、気軽に笑顔で話し掛けてみよう。あなたの勇気ある行動を応援しています。
- 62 **After you.** 「お先にどうぞ」エレベータの前で、譲ってあげる時に、さりげなく発するセリフ。あなたの後から、行きますという意味。マナーもばっちり、カッコいい！順番を譲る時にも使えるよ。
- 63 **Do it again, please.** 「もう一回、やって」相手にもう一回同じことをしてほしい時に、言ってください。部活の練習の時に、先輩が後輩に教える場面でも、使えるかな。その時は、please は付けなくても。
- 64 **Let's take a rest.** 「ここで、小休止。少し休みましょう」あまり無理せず、適宜お休みを入れよう。自分から、このセリフを発すれば、リーダーっぽくて格好いいね。
- 65 **Go ahead.** 「いいよ、先に進めて」くれた言い方で、道や順番を譲る時の言葉。相手に許可を与えて、「OK、先に進めていいよ」という時もこの表現が使えます。
- 66 **It's time for bed.** 「もう、寝る時間だよ」消灯は10時半。先輩である自分から後輩に、「今日は、ここまで。また明日6時に起きよう」と声を掛けるのも大事な役目。
- 67 **Let's split it.** 「みんなで、分けようよ」ケーキの差し入れを戴いた。その時に、この表現が使える。分けるのは後輩にやってもらおう。その方が、太っ腹な先輩に見えるよね。
- 68 **That's enough.** 「はい、もう沢山です。(有難うございます)」もっとおかずを取って食べて下さいと、勧められた。もうお腹一杯です。これ以上は、食べられない時は、丁寧にこう表現しよう。感じ悪い言い方をすると、「もう沢山。いい加減にして」という意味にもなるので、上手に表現してね。
- 69 **Can you hear me?** 「大丈夫？(私の声が)聞こえてますか？」電話や説明会の時、時に心配になる時があります。こういう確認をしっかりとできるのは、立派な行動ですね。
- 70 **Could you help me?** 「手伝っていただけますか」丁寧な表現の時には could を使うといいですよ。相手はきっと気持ちよく、手を貸してくれます。
- 71 **That's not fair.** 「それはダメ。ずるいよ。公平にちゃんとやってください」社会人として、こう言われたら、反省すべし。でも、相手の行動に問題があれば、きちんとこのセリフで、注意をしよう。但し、重い言葉なので、注意して使おう。
- 72 **That's terrible.** 「ええ、大変だったよね。ひどいよね」テレビなどでも事故、災害のニュースが時々あります。友達の苦労した話を聞いてそれはひどかったねと同情する時に。
- 73 **Be careful.** 「気を付けてください」相手に注意を促す時、危ないことが想定される時にも、この一言で、配慮の声掛け。自然にこのセリフが出れば素晴らしい。
- 74 **It's famous.** 「これって、結構人気なんですよ。」このお菓子、皆で食べてね。横浜では、結構人気があつてね、などに使います。悪名高きという悪い場合には、使わないので注意してね。

- 75 **Lock the door.** 「鍵を掛けて (ください)」 部室の鍵は、しっかりと掛けよう。先輩が後輩に、練習の最後にこう言って解散かな。
- 76 **Come with me.** 「じゃあ、一緒に来て」 例えば、道を聞かれた。いいですよ、教えてあげます。私に付いてきてください。こういう場合も使えますね。
- 77 **I' m home.** 「ただいま (帰りました)」 家に戻ったら、大きな声で、こう言いましょう。自分の存在感を相手に示すことって、大事ですから。
- 78 **Watch out!** 「気を付けて、そこ危ない」 廊下の木が腐って、穴が開いています。そこを先輩が知らずに通り過ぎようと・・・。危険が迫っているぞと即座に注意を促す時に使うセリフ。とっさにこの言葉を出せるよう、事前に練習しておこう。
- 79 **See you later.** 「さようなら、じゃあ、またね」 また近いうちに会いそうな人には、これでOK。気軽に自分から先に声を発するとカッコいいね。
- 80 **Are you feeling better?** 「気分はどう? 元気になったかな」 体調が悪かった友人に、気遣って声を掛ける時はこのセリフ。寮の食事を保健室の友人に届ける時に言ってみよう。
- 81 **I' m full. Thank you.** 「もう、お腹一杯です。ありがとう」 満腹なのに、遠慮しないでって、勧められる時もあります。丁寧に断るセリフを身につけましょう。
- 82 **You are very kind.** 「ありがとう、親切にしてください」 サンキューだけでは、少し物足りない時もあります。感謝を表す表現をもうひとつ覚えておきましょう。
- 83 **Where am I?** 「ここは、どこですか?」 知らない場所だと、自分がどこにいるのか分からなくなる時があります。そういう時は、迷わずに、近くの人に聞くのが一番です。
- 84 **I respect you.** 「あなたはすごいですね。尊敬しています」 自分の知らないことを色々教えてもらって、すごいなあと感じたら、感謝の気持ちも込めて、思いを伝えよう。
- 85 **Please look closely.** 「よーく見て下さい」 相手にしっかり見てもらいたい。この2つの製品の仕上がり方の違いを。そう言うと、相手は目を凝らして見てくれるよ。
- 86 **Are you sure of that?** 「それって、確かですか?」 相手の話を素直に受け取れない時は、このセリフで、しっかり確認しよう。「本当?」「大丈夫なの?」という感じ。
- 87 **You' re kidding!** 「まさか! (嘘でしょ)」 私の兄弟姉妹は10人ですと言われたら、このセリフ。話が意外で、びっくりした時、つい、それって冗談じゃないですかと言いたい時、言ってみましょう。
- 88 **What time is it?** 「今何時ですか?」 部活に熱中して、ついつい時間が分からなくなる時も。時間を確認して、さあ、寮で食事だ。
- 89 **I feel dizzy.** 「めまいがします」 保健室で、看護師さんと話し中。どう、体調は? と聞かれて、頭がくらくらする時には、この言い方。早めに病院に行くのがよいですよ。
- 90 **I' m sick.** 「気分が悪いんです。具合が悪くて」。熱がある、吐き気がするなど体調が悪い時は、こう言って、ゆっくりと休んでください。
- 91 **Did you notice?** 「気づいた?」 森の中を皆で歩きながら、キツツキを探している。あれ、何か気配を感じたかな、木を叩く音が・・・仲間にも聞こえたかな?
- 92 **You are brave.** 「勇気ありますね」 心強い相手に対してこう言って誉めよう。敬意を表して、この一言。
- 93 **I' ll be there.** 「私が、そこに行きますよ」 相手と会う相談をしています。どこで、何時に・・・。相手は忙しそう。私は時間に余裕がある。私が、その指定された場所に行きますよと言ってあげると、親切ですね。

- 94 **How tall are you?** 「身長はどのくらいですか？」 すごく背の高い人にあったら、つい聞きたくなるかな？
- 95 **Good job!** 「よくやったね」 テストで高得点、スポーツで好プレー、仕事の出来栄が素晴らしい。誉め言葉を言う時には、これを使ってみよう。
- 96 **I' d like to see it.** 「見てみたいですね」 相手が、魅力的なプレゼンをしてくれています。素敵ですね、という思いを込めて、この一言を話しましょう。
- 97 **I' m not good at it.** 「上手じゃないんですよ」「苦手なんです」 勉強の科目、スポーツの種目、誰しも得意あれば、不得意もある。自分に否定形はなるべく使いたくないが、ここは仕方ないかな。
- 98 **You are welcome.** 「どういたしまして」 相手が有難うと言ってくれたら、これでしっかりと受け止める。笑顔も添えてね。
- 99 **Give me a hand.** 「助けて」「手を貸して」 手伝ってほしい時に、周囲の仲間にかこう声をかけて一緒にやろう。一人だと、安全上も心配。遠慮しないで声を掛けよう。
- 100 **Please keep it dry.** 「濡らさないで」 カメラ、パソコン、スマホ・・・濡らしちゃいけない。大切な物を濡らさないように気をつけてねという表現。
- 101 **It' s now or never.** 「今がチャンス」「今でしょ」「今こそ、絶好のタイミング」 今のチャンスを絶対逃したくないということを言いたい時、これを使ってください。
- 102 **I' m on your side.** 「君の味方です」 私は君と同じ意見、考えです。あなたを応援しています。そういう時は、これで相手を支えてくれているという気持ちを伝えられます。
- 103 **Pass it to me, please.** 「それ、取って下さい」 食事の最中、向こうにある醤油を取ってもらいたい時には、黙って手を伸ばさなくて、この一言。親切にあなたに手渡してくれます。
- 104 **Here you are.** 「はい、これ、どうぞ」「ボールペン、お借りできますか？」「はい、どうぞ」 こういう、とっさの一言が言えると、格好いい。理屈抜きで覚える表現です。
- 105 **One more, please.** 「もうひとつ、頂いてもいいですか」 もう一つ、欲しいなと思ったら、遠慮しないで、この言葉を言いましょう。
- 106 **That' s my favorite.** 「私のお気に入りです」「私の好物なんです」 プレゼントをもらったり、食事におかずが出た時、自分の好きな歌手の話になった時に、こう言って相手に自分の気持ちを表現しよう。
- 107 **No way!** 「絶対だめです。勘弁して下さい」「えー、そんなことってあり得るのですか」 2つの意味があります。きつい言葉なので、場面を考えて、うまく表現しましょう。きっぱりと断る時は、これを言ってもらって結構です。
- 108 **Sweet dreams!** 「おやすみなさい」。good night だけでは、ありきたりかな？ と思ったら、これを使ってみよう。カッコイイ響きだよ。
- 109 **It' s bitter.** 「あ、にがいですね」 コーヒー、チョコレートや薬などを口に入れて、苦い(にがい) と思ったら、この表現をどうぞ。
- 110 **You look happy.** 「楽しいことがあったんでしょ」「嬉しそうだね」「幸せそう」 こう言って、相手の心の中に一歩入り込んでいこう。
- 111 **My turn!** 「よし、次は私の順番だぞ。さあ、頑張ろう」 野球のバッターの打順が回ってきました。さあ、ここで一発、自分にも気合をいれよう。トランプをやっている「次は私の番だよ」という時も使えるよ。

- 112 **Don' t lose it.** 「しっかり持ってて。無くさないでよ」財布、パスポート、準備は OK かな？大切な物を身につけて、置き忘れてたりしないように。この一言で確認しよう。
- 113 **Take a deep breath.** 「ここで、深呼吸して」生活体験発表会のスピーチ。彼はどうも緊張している。
- 114 **Let' s work together.** 「さあ、一緒に仕事に取り掛かろうよ」リーダーであるあなたは、こう言って仲間を促そう。
- 115 **No problem.** 「大丈夫です。ご心配なく。」「問題ありません」相手が、「わざわざここまでしてくれて、ありがとう」と言ったら、こう言って、返事すればいいよね。
- 116 **I' ll do my best.** 「自分なりに最善を尽くします。」「一生懸命頑張ります」スポーツの試合の時には、絶対これを言おうね。そう、中間テストの前もお願いします。
- 117 **That smells good!** 「おいしそう、いい匂い」こう言うと、相手はぐっと嬉しくなって、場が盛りあがるのです。だから、この一言。
- 118 **I' m jealous.** 「いいなあ、うらやましいですね」軽いタッチで、言いましょう。真剣な表情で言うてはいけません。抽選に見事当たった。嵐のコンサートのチケットが手に入った。「私にも少し幸運を分けてよ」というニュアンスでしょうか。
- 119 **Take it easy.** 「まあまあ、落ち着いて」「そんなに心配しないで」「大丈夫、気楽にいきましょう」相手をなだめる時の表現です。スポーツでエラーをして、仲間に迷惑をかけたと思って、めげている時にもこの一言で、なぐさめよう。
- 120 **Could I have some water?** 「お水、いただけますか」友人の家で、レストランで、こう言うてお願いしましょう。Can よりも could は丁寧な表現になります。
- 121 **Please feel free.** 「気兼ねしないで、どうぞ、ご自由に」自宅にお客様、友人が来た時、こう言えば、相手の緊張も解けますよね。親切な一言です。
- 122 **Please turn on the light.** 「電気（灯り）を付けてもらっていいですか」夕方になって暗くなってきたので、壁の近くにいる人をお願いしちゃいましょう。Turn off は消す時にね。
- 123 **I' m sweating.** 「暑いなあ、汗かいちゃった」スポーツの後は、こう言って、スポーツドリンクを飲もう。
- 124 **Look behind you.** 「ちょっと、後ろ振り返ってみて」相手に後ろをみてもらおうと思ったら、こう言いましょう。楽しい仲間がいるかな？それとも落し物かな？と思いながら、その人は後ろを向きます。
- 125 **Something' s wrong.** 「何か変だよね」「何かおかしいよね」いつもと様子が違う。この機械の調子、悪いかも。安全には十分注意を。
- 126 **I' m scared.** 「勘弁して。こわいよう」地震でグラッ、雷がゴロッ、高い所から下をのぞくと、こわーい。こう言えば、友達が、あなたを守ってくれますよ。
- 127 **Move back.** 「危ない、一歩下がって！」友達が、車にぶつかりそうに。身に危険が迫っているのをみたら、とっさに言う一言。これで、仲間を助けられる大切な言葉。
- 128 **I have a cold.** 「風邪引いちゃってさ」遊びに誘われても、今日は、ごめん。調子が悪くて。無理をしないで、ゆっくり休もう。こう、理由を言ってね。
- 129 **It looks heavy.** 「重そうだね」友達が、寮に来た荷物を一人で運ぼうとしている。何が入っているのかな？それよりも、早く運ぶの手伝ってあげよう。こう言って。

- 130 **You can do it.** 「大丈夫、君ならできるよ」友達が、難しいことに挑戦している。すごい。でもちょっと悩んでいて、自信がなさそうだ。よし、ここで背中を押して励ましてあげよう。
- 131 **It's not over yet.** 「まだまだ、終わっちゃいない。」不利な状況でも、簡単に諦めるわけにはいかない。自分でこの言葉を発して、仲間を奮起させよう。最後まであきらめないぞ。
- 132 **Keep still.** 「じっとしててね」写真を撮ります。しばらく動かないで等、今の姿勢のまま動かないでとお願いする時は、これで通じますよ。
- 133 **Just a minute.** 「ちょっとお待ちください」自分のメールはもうすぐ送信できる。それが終わってから、お話を聞きますよ。少しだけ待ってくださいとお願いする時の表現。
- 134 **Come closer, please.** 「もっと近づいてください」相手は遠慮して、離れている。どうぞ、もっと近づいてよく見て下さいねと言う時は、こう言いましょう。
- 135 **I'm going to bed.** 「もう寝ます。おやすみなさい」まだ同室の仲間はお喋り。眠くなったので、お先に失礼と言う時に。